

策定年月	令和5年1月
見直し年月	令和〇年〇月

# 麦・大豆国産化プラン

産地名：金山町産地

（作成主体：株式会社金山エコフィールド）

# 1. 麦・大豆生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

## (1) 現状と課題

・大豆については、「里のほほえみ」を中心に栽培しており、約45tを全農を經由して全国の加工業者に向けて販売されている。ほ場面積については、増加傾向にあるが、単収が思うように伸びていない。中山間地域であり、ほ場が地域内に点在していることから団地化形成が難しく、作業効率が向上しづらいことや、多雨多湿地域であり、日照時間が短いなど気象条件も影響しており、作業効率の向上や湿害対策等栽培技術の向上が課題となっている。

## (2) 課題解決に向けた取組方針

### ① 需要に応じた生産と販売の実現

栽培技術を改善させ、単収を向上させることにより、実需者が求める品質確保、安定供給を図る。

### ② 生産管理体制の改善

定期的な栽培技術の研修会を開催し、生産管理体制の見直しを図るとともに、高性能機機械を導入し作業効率を向上させることで播種、収穫等の適期を逃さない作業スケジュールを再構築する。

### ③ 排水対策

畝立同時播種、中耕培土作業を適切に行うことによりほ場表面の排水性向上させ、湿害を回避する。

※ 麦・大豆生産における課題(湿害対策、適期播種、土づくり、連作障害対策等の必要性等)を具体的に記載すること。

※ 課題解決に向けて取り組む内容及び今後の生産拡大に向けた方針を具体的に記載すること。

## 2. 産地と実需者との連携方針

### (1) 連携方針

令和4年度より金山町内で事業者が国産大豆を使用した大豆ミート(植物性代替肉)の加工、販売をスタートさせた。事業者は今後、大豆ミートの増産を計画しており、金山町内産大豆の栽培量の増加が求められている。  
産地の中心となっている、農業者においては、それに対応するため、栽培技術の見直し等を図り、生産量を増加させ、国産大豆の安定供給を目指していく。

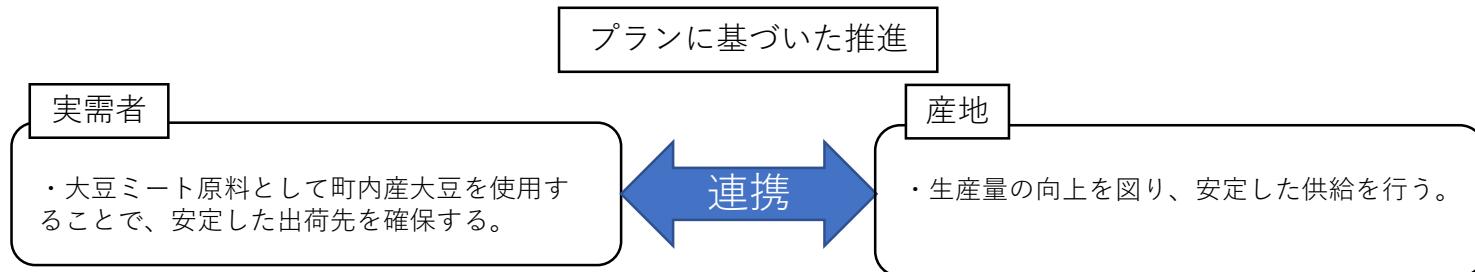
### (2) 現状と目標値

#### ①産地

作物名	品種名	令和4年産(現状)			令和7年産(目標)		
		面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)
大豆	里のほほえみ 他	61.1	73	45	60.0	90	54
合計		61.1	73	45	60.0	90	54

#### ②実需者

作物名	使用目的	令和4年産(現状) ※令和4年10月から事業開始したため数値なし。			令和7年産(目標)		
		需要量(kg)	うち国産(kg)	国産化率(%)	需要量(t)	うち国産(t)	国産化率(%)
大豆	大豆ミート	-	-	-	54	54	100



※ 産地と実需者については具体的な名称を記載すること。

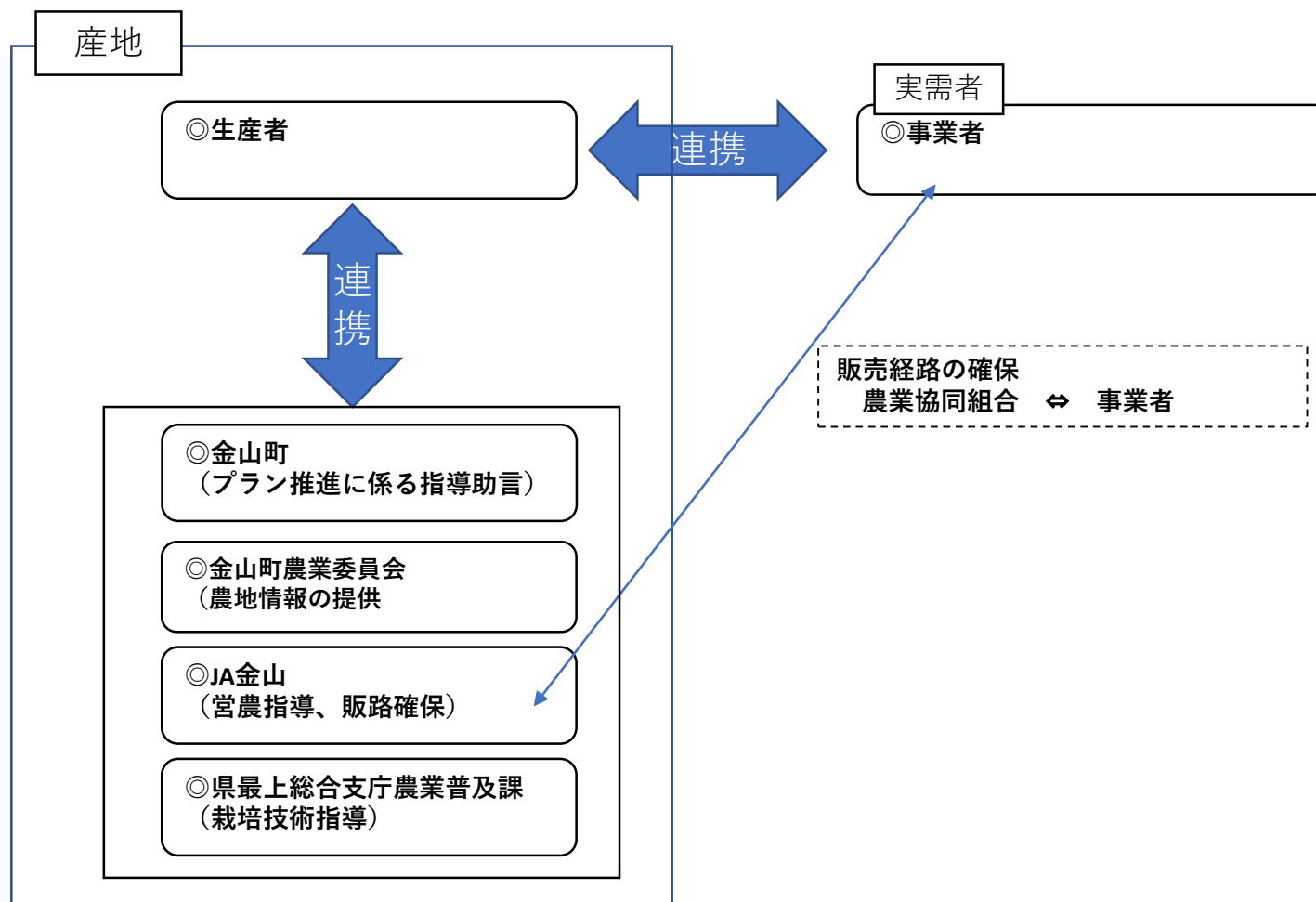
※ 麦の実需者は、麦を原料とした加工品等の製造を業とする者(製粉会社、製パン会社、製麺会社等)とする。

※ 大豆の実需者は、大豆を原料とした加工品等の製造を業とする者、大豆の販売を業とする者及びこれらの者が組織する法人その他の団体とする。

なお、販売を業とする者を実需者とする場合は、その者が販売する先(最終実需者)について、代表的な者の名称を記載すること。

※ 産地と実需者それぞれの国産麦・大豆取扱量の現状とおおむねの目標値を記載すること。

### 3. 麦・大豆の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割



※ 産地と実需者との連携について、図等を用いて明示すること。

※ 取組の中心となる農業者等を必ず位置付けること。